

新型コロナウイルス感染症中小・小規模企業緊急総合支援事業 取組事例報告書

事業者情報	よみがな	ごうどうがいしゃひるず	所在エリア	道南・渡島
	事業者名	合同会社ヒルズ		
	業種	その他の教育,学習支援業など	従業員規模	1名
	事業概要	道南に所在する学習塾である。同社の学習塾は、独自ノウハウによる少人数制である点が評価され、地元小学生・中学生から人気を博しており、年々受講者数が増加傾向にある。		
	活用施策	事業再構築補助金		
支援期間	2021年4月12日~2022年2月1日	担当専門家	北村 耕司	

取組事例 独自のオンライン学習塾システム事業の開発

取組概要	<p>新型コロナの感染拡大期の塾生減少の影響を回避するため、新たにオンライン学習システムを開発する取組である。このオンライン学習システムの特徴は、以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①指導者と受講者の双方向性を意識した学習フロー ②テンポよく基礎を学べる教材エディター機能の搭載 ③リアル通塾を組み合わせたハイブリッド学習
------	--

■写真・イラスト等：プロトタイプ版の学習アプリ・スクリーンショット

 <p>出題イメージ</p>	 <p>講師指導の着信画面</p>
---	---

■取組の経緯・背景

同社は、学習塾の他に民泊や飲食店も経営しているが、新型コロナの感染拡大で大きなダメージを受けた。民泊事業は、外国人観光客が激減したことから、おおよそ再開のめどは立たず、飲食店は営業を継続しているものの、三密回避やソーシャルディスタンスの厳守等から、コロナ以前に回復するには時間がかかると判断していた。その為、経営資源を集中し、コロナに対抗する事業として残りの学習塾事業を選択した。

もともと同社代表の頭の中には、子供たちに基本的な内容を学習させるための効率的なツールがないと考えていたこともあり、遠隔でも学習できるオンライン学習塾のシステムを開発することで、コロナ対策との一石二鳥を狙う取組である。

■取組内容（特徴・工夫・進捗など）

このオンライン学習システムの主な機能について説明する。

① 指導者と受講者の双方向性を意識した学習フロー

大手のオンライン学習システムは、その多くが一方向的な映像講義を受講する一方向的なものであるのに対して、この学習システムは、指導者とのやり取りを意識している。具体的には、「教師と生徒が直接面談できる機能」「生徒の学習ノートを教師が点検する機能」「質問リクエストで適宜教師が直接回答する機能」等が盛り込まれる。

② テンポよく基礎を学べる教材エディター機能の搭載

オンライン学習システムの運営側の課題は、適宜必要な問題を作問・改良したり等といったフレキシブルな作業が出来ることである。これが出来ないと追加・修正の都度、IT 業者に制作費を支払い運用することとなり、コストパフォーマンスが悪い。

また、こういった学習アプリの弱点は、淡々と説明を読まされたり聞かされたりとテンポが悪く、すぐに難解な問題が出てきてついていけなくなること、である。

こういった問題を解決するために、パワーポイント等で作ったデータを取り込みアプリ化する「教材エディター」を開発することで教材のフレキシビリティを高めつつ、問題の難易度は全て基礎レベルに限定することで、何度でもテンポよく学ぶことができる構成を目指している。

③ リアル通塾を組み合わせたハイブリッド学習

オンライン学習システムでは、指導者と生徒の多くのやり取りを可能とするが、どうしても「ほかの生徒も一生懸命勉強している」という雰囲気伝えることができない。そのため、月1回程度、同社が運営する学習塾にリアル参加する特典も付与することで、大手のオンライン学習システムとの差別化を狙う。

尚、このオンライン学習システムについては、2022年2月の段階で教材エディターのプロトタイプ版にめどが立って、この後、試行錯誤や機能修正を加えた後、リアルタイム通話アプリ開発やデータベース構築を進める流れとなっており、並行して理科、数学、英語といった順に科目展開も図っていく予定である。

■今後に向けて

今後は、システム開発を継続し、2022年の夏期講習への適用を目指して進めていくこととなる。また、同システムが完成し軌道に乗れば、同社のような個人規模の学習塾向けに学習プラットフォームとしての発展を狙っている。

■支援の流れ

2021年4月	支援開始。オンライン学習塾に関する企画のヒアリング
2021年4月	事業計画書の作成に関する支援・アドバイス
2021年8月	計画日程に対する見直し、制作者選定に関する支援・アドバイス
2021年9月	オンライン学習塾システム制作の進め方に関する支援・アドバイス
2021年10月	英語・数学に関する教材エディター制作に関する支援・アドバイス
2021年11月	プロトタイプ検証フェイズの進め方に関する支援・アドバイス
2021年12月	全体スケジュールの再調整に関する支援・アドバイス
2022年2月	日程遅れに関するトレースとプロトタイプ版に関するヒアリング